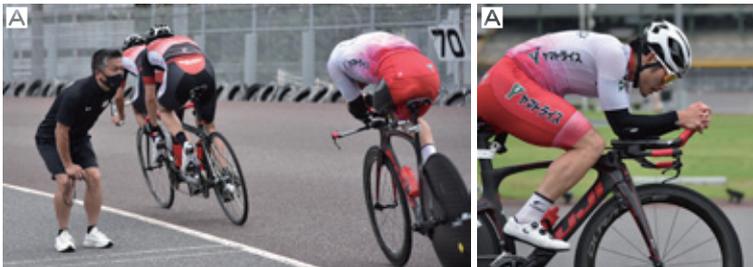


特集 パラサイクリング日本ナショナルチームを応援します！

笑顔で駆け抜ける！

8月24日(火)にパラリンピックが開幕します。市では山陽オートレース場をパラサイクリング日本ナショナルチームの練習場として提供し、市を挙げてパラサイクリングを応援しています。パラサイクリングにはトラック(バンクと呼ばれる自転車競技専用の走路)競技とロード(一般道)競技があり、身体や視覚に障がいがある選手が、その障がいの種類や使用する自転車によってクラス分けされ競技します。スピード感あふれる、熱い戦いがいよいよ始まります！



応援の力が選手の支えに 練習 & 交流事業

平成30年に、市は日本パラサイクリング連盟と協定を締結し、本市が東京2020パラリンピックの事前キャンプ地となりました。7月14日～20日に山陽オートレース場で行われた事前キャンプの様子をご紹介します。

パラサイクリングについて詳しくは市ホームページをご覧ください▶



【A】キャンプでの練習

大会本番に向けて、選手、監督スタッフなどチーム一丸となって、60分走や15周走などのメニューに取り組みました。

【B】市民との交流

7月15日・16日、植生小児童54人が選手と交流し、タンDEM自転車(2人乗り自転車)を体験しました。また18日には、自転車を通じた交流イベント「Cycle Smile Sanyo-Onoda」(日本パラサイクリング連盟主催)が開催され、自転車好きな人や知的障がいのある人が参加し、選手と一緒に走路を走るなどの交流をしました。

【C】壮行会・市長表敬訪問：7月16日

権丈監督や選手たちがメダル獲得に向けて意気込みを語りました。藤田市長は「最高の結果を待っています」と激励しました。